

しょうじき なかよし いっしょうけんめい いのちだいじに

## 誰一人置き去りにすることのない学校に

始業式に、右の詩を子どもたちに紹介しました。ある小学校の1年生が書いた詩です。同じ日に種をまいたとしても、芽が出る日や、花が咲く日は、みんな違います。アサガオを育てた経験のある庄内小学校の子どもたちなら誰もが納得することです。人も花と同じだと思うのです。成長するスピードは一人一人ちよつとずつ違います。どうか、それぞれのペースを大事にして、じっくりと学び育ててほしいと願っています。クラスのみんなが走る速

みんな  
ちがうんだね

おもって  
いたよ

めが  
でると

おなじ  
ひに

たねを  
まいたから

みんな  
でおなじ  
ひに

ねえ  
せんせい

あさが  
おのめ

さが同じとか、テストの点数が全員同じとか、性格がみんな一緒とかありえませんが、みんな違って、当たり前です。でもペースや結果が違って、どの子もみんな一生懸命学び成長したいと願っているところは同じです。その一生懸命さを子どもたちが自分のペースで楽しみ、それを互いに応援し合える、そんなクラス、そんな学校にこの庄内小学校をぜひしていきたいのです。と、そんな話をしました。

さて、庄内小学校には、今年度から新しい教室が二つできます。一つは、通級指導教室の「サポートルーム」です。もう一つが校内支援教室の「ほっとルーム」です。どちらの教室も、一人一人のペースを大切に、じっくりと学び成長できる場をつくりたいという願いをもって設立した教室です。

「サポートルーム」は、学校生活のいろいろな場面で不安を抱えていたり、様々な原因によって本来の力を出し切れなかったりする子どもたちに対して、それぞれの子どもたちの特性に応じた指導を行い、生き生きとした楽しい学校生活を送れるように支援することを目的とした教室です。他校の子どもたちも通ってくるので、もし、出会ったら、あたたかい挨拶を交わしてほしいと思っています。

「ほっとルーム」は、学校生活の中のなんらかの理由によって、不安を感じたり「しんどいなあ〜」と思うようになったりした子どもたちに対して、安心して過ごせる居場所を提供したいという願いで設立した教室です。子どもたちの主体性を大切にしながら、自分のペースで学べる場にしたいと考えています。

大切な子どもたちを、誰一人置き去りにすることのないように、職員一同努力していきたいと思っています。